


総務課長
危機管理課長
行政経営課長
商工観光課長
都市整備課長 殿

 一般社団法人 日本経営協会
常務理事・中部本部長 大久保 若穂

「利用促進」と「安全確保」の両立を図る！

NOMA行政管理講座（名古屋）開催のご案内 <平成30年11月1日（木）～2日（金）開催>

～地方創生や国家プロジェクトのソサエティ5.0等に向けたドローン活用・企業誘致等に向けて～

『ドローン条例制定・安全な活用のポイント』

拝啓 時下ますますご清業のこととお喜び申し上げます。本会事業活動には、平素より格別なご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国家的には政府広報のトップを飾る重要課題としての「ソサエティ 5.0」や、そこに至るために経産省も最重視して推進する「新産業構造ビジョン」や第4次産業革命での「空の産業革命」などをはじめ、国交省による「i-Construction」や総務省による消防・防災対策の先端IT活用のガイドラインなど、それらすべてに関わるドローン（無人航空機）をめぐる動向は、各地の自治体における実証実験や企業誘致を交えた地方創生策として、各方面で注目を浴びている状況です。

しかし、自治体によっては、ドローン利活用に必要な条例等の整備が十分に進んでおらず、地域企業の活性化や地方創生や産業活性化のみならず、企業誘致の成否にも悪影響を及ぼしはじめている状態のままの自治体が散見されます。

そこで、今回は世界初で廃校や遊休地を活用した「ドローンエアポート構想」や日本初のドローンによる防災対策「ドローン災害レスキューガイドライン」をとりまとめ、首長・自治体役職員・監査委員などの指導も豊富で、自らもドローン・パイロットである日本マネジメント総合研究所合同会社理事長の戸村智恵氏をお招きして、標題のセミナーをお届け致します。

時節柄ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者の方々多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬具

記

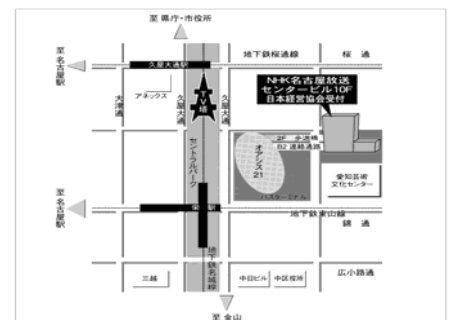
日時：平成30年 11月1日（木）13:00～17:00
2日（金）10:00～16:00（計2日9H）

会場：NHK名古屋放送センタービル内教室

講師：日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公務人材育成センター センター長 戸村 智恵 氏

参加料（負担金 1名につき）：

	負担金	消費税等	合計
NOMA会員	29,000円	2,320円	31,320円
一般	32,000円	2,560円	34,560円



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線（4分）栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線（5分）久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄（25分）金山駅（乗換）地下鉄名城線（7分）栄駅より徒歩5分
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

申込方法：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX等で下記へお申し込みください。

折り返し、「参加券」と「振込口座名を記載した請求書」を、ご派遣責任者宛にお送りします。

- ・電話予約も受け付けております。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。
- ・負担金は原則開催日の3営業日前までに銀行振込にてお納めください。経理処理等の都合で遅れる場合は事前にご連絡ください。
- ・ご参加申込の方のご都合が悪くなられた場合は、代理の方にご出席いただきますようお願いいたします。
- ・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきます。必要な場合はご連絡ください。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前（3営業日前まで）にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日までのキャンセルは受講料の30%、開催日当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

ご宿泊（ご参考）：本会では宿泊手配（予約）はいたしませんので、直接ホテルへお申込みくださいますようお願いいたします。

※ご予約の際に、日本経営協会からの紹介であることをお申し出いただきますと、宿泊料金の割引がございます
※ホテルの宿泊料・割引等は事前にフロントにお確かめください（時期によって変動がございます）

ホテル名	シングル客室料金（ご参考）	交通	ホテル電話
東京第一ホテル錦	11,000円～13,000円（15～20%割引有）	地下鉄栄駅より徒歩3分	052-955-1001
ベストウェスタンホテル名古屋	7,000円～	地下鉄栄駅より徒歩4分	052-263-3411

お問合せ：一般社団法人日本経営協会 中部本部 企画研修グループ〈担当：大脇・里見〉

お申込先 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10F

TEL (052)957-4172 FAX (052)952-7418 ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※お問合せは、平日の9:15～17:15にお願いいたします

以上

◆講義項目◆

1. ドローン・先端 IT はやわかり講座

・ドローン＝人工知能＋IoT＋ビッグデータなどの先端 IT
 ・ドローンが活躍する事例・動向・効果等について

- ① 政府の進めるソサエティ 5.0 の筆頭格として・・・
- ② 総務省における防災・災害面での利活用等
- ③ 経産省における新産業構造ビジョンと「空の産業革命」における利活用・動向等
- ④ 国交省における「i-Construction」推進等
- ⑤ 国家的イベントでの警備やインフラメンテナンス等

・ドローンにおいて懸念される課題・リスク面

- ① 悪用や問題行為、住民の不安やクレーム等
- ② ドローン運航上の事故・ミス・リスク管理等
- ③ ドローン損害保険の整備状況等 など

2. ドローン・コンプライアンス(戸村智慧) ポイント解説

・ドローン活用に関わる主な法令とその概要

改正航空法、小型無人機等飛行禁止法、民法、
 道路交通法、改正個人情報保護法、電波法、
 外為法、産廃法、海岸法、河川法、港則法、
 国交省における災害時等の各種要請・規制など

・国交省におけるドローン指導団体の管理運営状況等

・省庁による各種ガイドライン・規制等の状況

・全国各地の自治体による条例や規制の現況 など

3. リスク面を超えて向かうべきリターンの側面

・地方創生や企業誘致や災害対策などのリターン

- ① わが街・村にも「空港を！」がスローガンの「ドローンエアポート構想」による活性化策
- ② 災害時に人にやさしく危機に強い IT 活用の「ドローン災害レスキューガイドライン」
- ③ 自治体 SDGs に向けたドローン活用を通じた SDGs 型の社会問題解消アプローチ など

・なぜ過疎や産業力の弱さに悩む自治体ほどドローンで地方創生・活性化・企業誘致を目指しやすいか？

・ドローン活用で得られる各種のリターン例 など

4. ドローン条例制定と安全なドローン利活用に向けて

・リスクとリターンや各方面との調整を想定した実践対策

- ① 条例案作成：目的・住民視点での対応
- ② 事前審査：リターンとリスクの明示と対策
- ③ 市長の決裁：市長の視点での訴求点や説明等
- ④ 議会審議：議員視点での訴求点や説明等
- ⑤ 条例成立：成立時・成立後の対応・準備・周知
- ⑥ 公布：施行後の円滑な運用に向けての対策等

・お互いに幸せになりあう発展的なドローン活用へ など

※最新動向や社会状況等に応じて、上記内容などは予告なく適宜改訂・修正させて頂く場合がございます。

<講師略歴> 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
 公務人材育成センター センター長

戸村 智慧 氏

早大卒。米国 MBA 修了。元、国連職員(専門官)として内部監査業務や戦略立案専門官リーダー等を担当。民間企業役員レベルにて監査統括・人事総務統括や、経営行動科学学会理事、上場 IT 企業の顧問・アドバイザー、JA 長野中央会の顧問などを歴任。米国連邦航空局(FAA)自家用飛行機パイロットであり、国際的なパイロットの団体である AOPA 日本支部の初代コンプライアンス委員長でもあり、無人航空機操縦技能証明・安全運航管理者証明を保有するドローン・パイロットでもある。総務省・経産省の IoT 推進コンソシアム有識者会員、国交省の i-Construction 推進コンソシアム有識者会員なども務める。著書 33 冊。メディア出演に NHK「クローズアップ現代」や TV 出演・寄稿・連載多数。

一般社団法人日本経営協会・中部本部(大脇)行

FAX (052) 952-7418

日本経営協会会員 一般 (該当する方にレ印をつけて下さい)

60011615 『ドローン条例制定・安全な活用のポイント』参加申込書

H30/11/1-2

ふりがな 団体名		TEL () -	ご派遣責任者 所属・役職名
		Fax () -	
所在地	〒		ご氏名
No.	フリガナ 参加者氏名	所属・役職	印
			メールアドレス
			<通信欄>

※御請求書の宛名についてお知らせください【 団体名と同じ 異なる(宛名)】

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

- ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②本講座の運営 ③公開講座など本会事業のご案内
- お申込み時点で、趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。
- なお、上記③がご不要の場合は、右の口欄にチェックしてください。

不要